

## 令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業N o.	12-	4	
会計	款	項	目
一般	6	1	3
政 策	7 生活を支える担い手があり続けるために	課名	産業課
施 策	7-1 農業の振興	係名	新産業創造推進室

## 1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	農業者、事業者、住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	「ママチプロジェクト」の取り組みを通じて、大豆生産者の大豆の収量向上につながり、魅力ある持続可能な農業となることを目指す。
事業内容		栄養価の高い大豆「ななほまれ」の安定生産 主力品種の「フクユタカ」の収量向上に向けた取り組み 「ななほまれ」を使用した魅力ある商品の創出 東員町産の大さを使用した商品のPR		

## 2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1 農産品またはそれを活用した特産品数	16	19	28	品	↑	20
2 大豆の町内生産量	88	96	96	t	↑	128	
3							
4							
5							
		令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (予算)			
	全体事業費 (千円)		803	584		715	
財源 内訳	うち一般財源		803	584		715	

## 3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善&lt;※主管課長記入&gt;

## (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町閥与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継 続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

## (2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	・引き続き面積拡大、生産者の増加を目指す ・「種子用」としての栽培の実施 ・付加価値の高い大豆「ななほまれ」を使用した製品の開発 ・三重北農協と協議し、物流部分のコスト改善を図る	③取組の課題	・「ななほまれ」の種子生産を始めたが安定生産には時間がかかる。 ・大豆の収量がまだまだ低い。 ・大豆商品の魅力向上
②R6年度に実施した取り組み	・「ななほまれ」の種子用としての栽培を実証実験した。 ・「油揚げ」を含む大豆製品の販路拡大をおこなった。(ピアゴ東員店、スーパーサンシなど) ・イオンモールなどと協力して取り組みのPRを実施した。	④今後の改善計画	・「ななほまれ」の種子生産を継続的に取り組む ・桑名普及センターと連携し大豆の収量向上に取り組む ・魅力ある大豆商品の創出 ・「ママチプロジェクト」のPR